



せんだんの木



令和7年12月26日 校長 各務 至

全校集会より

校長の話 ※要約

今年の縄跳びは「二重跳び30回」という目標をたてて練習していましたが、先週、達成することができました。周りで応援してくれた子がいたおかげです。

また、4月からの目標は「学校のみなさんが楽しく過ごせるようにする」でした。そのために、みなさんと会って声を掛けること、楽しい授業や行事をつくること、みなさんが温かい仲間の関係をつくれるようにすることでした。実際、みなさんはどう感じたのか、先日のアンケートの結果を見てみようと思います。

「学校や学級は楽しいですか」という質問の結果は次のとおりでした。※12/24 時点での集計

よくあてはまる 212	あてはまる 129	あまりあてはまらない 35	あてはまらない 9
-------------	-----------	---------------	-----------

90%くらいの子が「あてはまる」としていることは嬉しく思いました。10%くらいの子が「あてはまらない」としていることに対するは、全員が「たのしい」となることをめざして、先生みんなで勉強や仲間のことを支えていきたいと思います。

ちなみに、私はとても楽しく過ごすことができました。みんなの「わかった!」「できた!」「やった!」という姿を見られたからです。他にも、「なるほど!」「たしかに!」と仲間に同意したり、「こうしたほうがいいんじゃない?」と新たに提案したりする姿に、思わずうなずいたりもしていました。

さて、みなさんは、今年の目標はどうでしたか。そして、来年はどうしましょうか。私は、みなさんが「楽しい」と思える学校にしていきたいと思っています。では、令和8年1月7日に会いましょう。

その他の質問項目についても、折を見て紹介していきたいと思います。保護者アンケートについても、ご協力をお願いします。

関係機関からの話—SNSに起因する被害について—

令和6年中の児童買春、児童ポルノや不同意性交等などの性犯罪を含むSNSに起因する被害児童数は前年から減少したものの、高い水準で推移しています。特に小学生の被害児童数が近年増加傾向にあり、被害児童の低年齢化が懸念される状況にあります。

こうした事件は、いわゆる「出会い系」サイトを介したものと思われるがちですが、実際には出会い系を主目的としていないSNSや通信ゲームなどを介したトラブルが急増して起こっています。近年こうした傾向が強まり、家出の原因となったり、不同意性交の被害、性的写真の要求・拡散されたり等、取り返しのつかない被害繋がることがあります。

家出した児童に話を聞くと、「彼氏のところに行っていた」と答える子どもがいますが、さらに詳しく話を聞くと、SNSで「家に来やあ」と言われた面識のない男の家であったこともあります。なぜ、会ったことのない相手を信頼してしまうのでしょうか。

- (1) SNS上では匿名性や距離感から、相手がより「本音」で話していると感じやすい
- (2) SNSでは自分が興味のあるアカウントをフォローしたり、特定の情報を検索したりと、自分で選択し、探し出した情報に対して、より高いシンパシー（共感）をもつ傾向がある
- (3) SNSの投稿内容やプロフィールから相手の人物像をある程度推測し、「この人はこんなタイプの人だ」という先入観を持ち、それが「大丈夫な人」という思い込みにつながる
- (4) 共通の興味・関心による「仲間意識」により同じ話題や「この人とは分かり合える」という思い込みから、疑似的な信頼関係が築かれるから
- (5) 「いいね」や好意的なコメントにより他人から認められたという「承認欲求」が満たされ、相手への信頼や好意につながる

「知らない人にはついてはいけません」という先生や保護者から聞かされた教えを、このSNSにおいてもわかりやすく伝えていく必要があると感じています。

年末年始にスマホを使って「新しい体験や出会いを期待」なんて考えている児童生徒がいるとしたら、家出、不同意性交、わいせつ画像の要求など、あってはならない事件に巻き込まれる可能性があるとのことから掲載いたしました。ご家庭で話題にしていただけますと幸いです。